

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第39週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和5年 第39週分 9月25日～10月1日（10月4日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：472人、定点医療機関当たり9.83人、新規患者推計値※：2,228人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

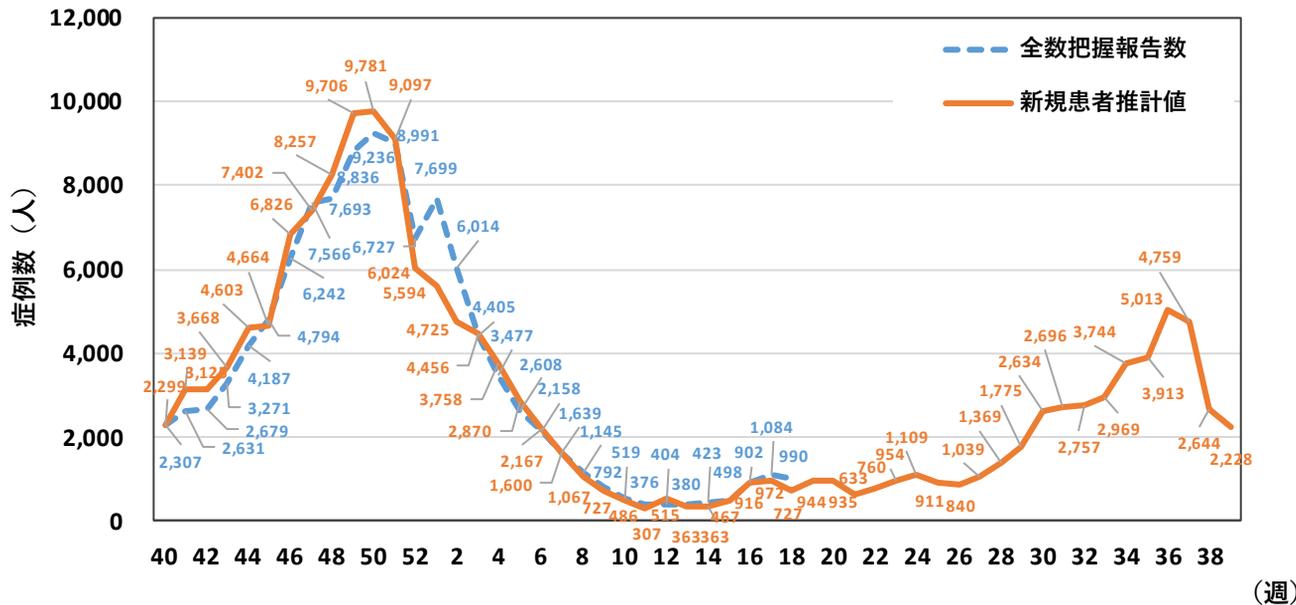


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

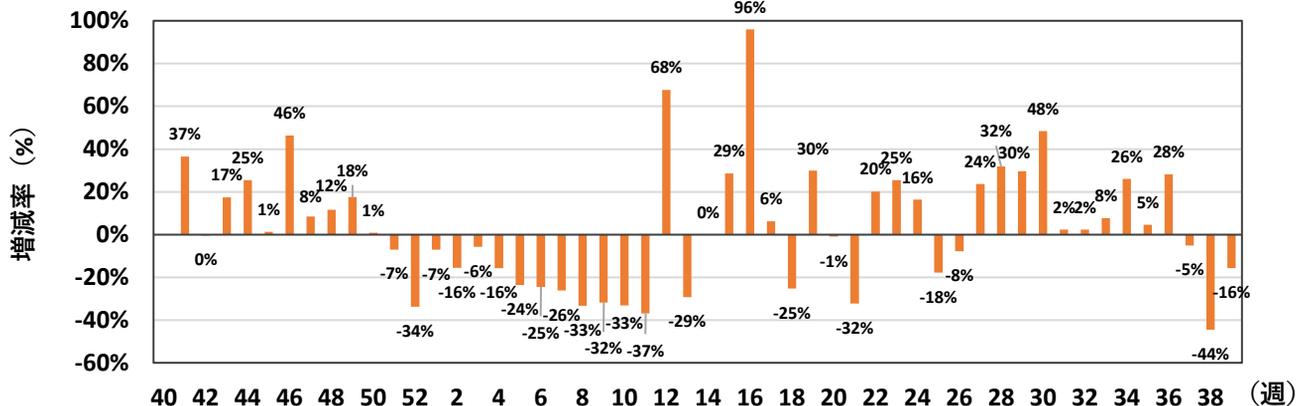


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第39週）

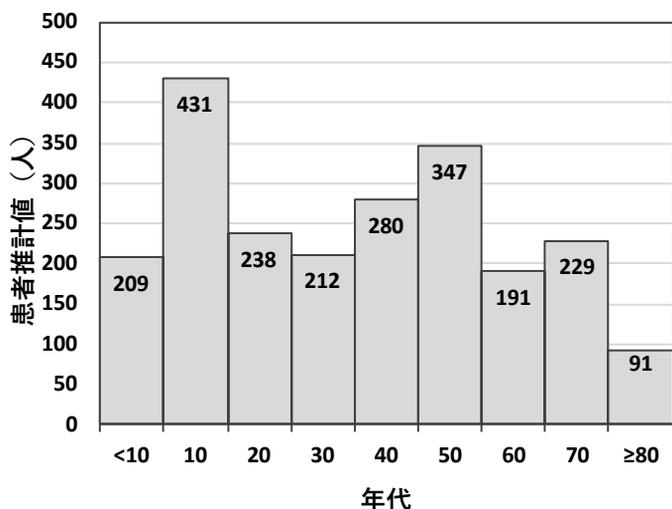


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第39週）

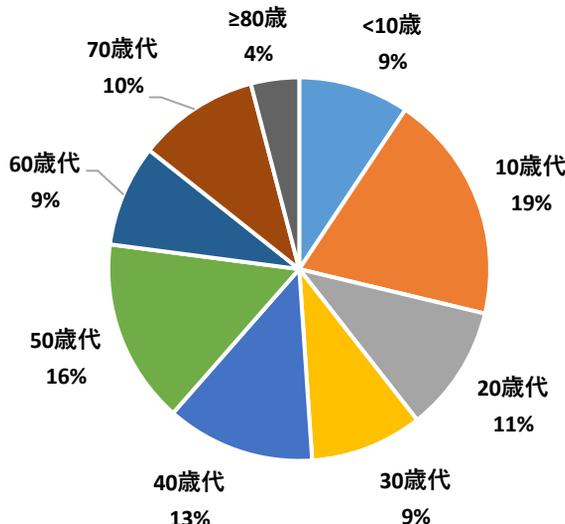


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移 (富山県)

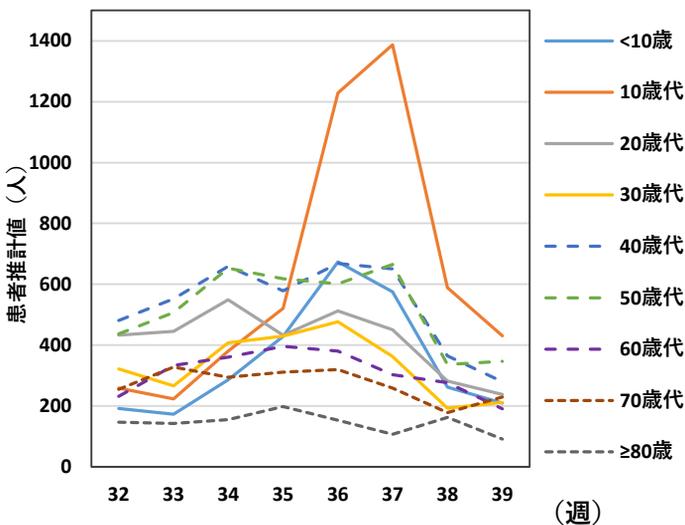
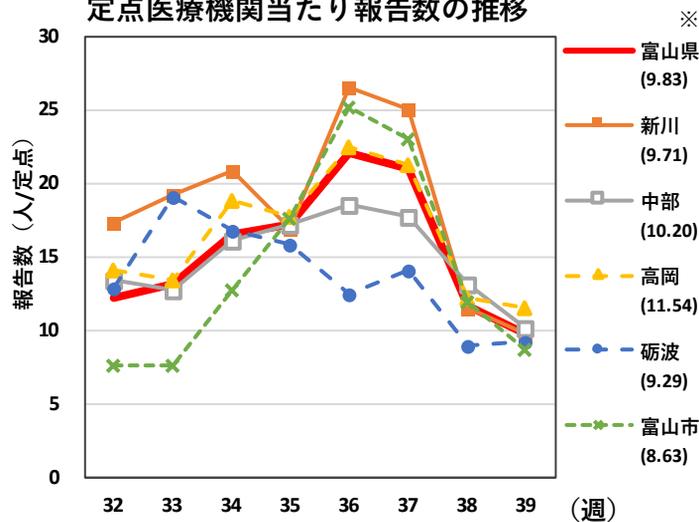
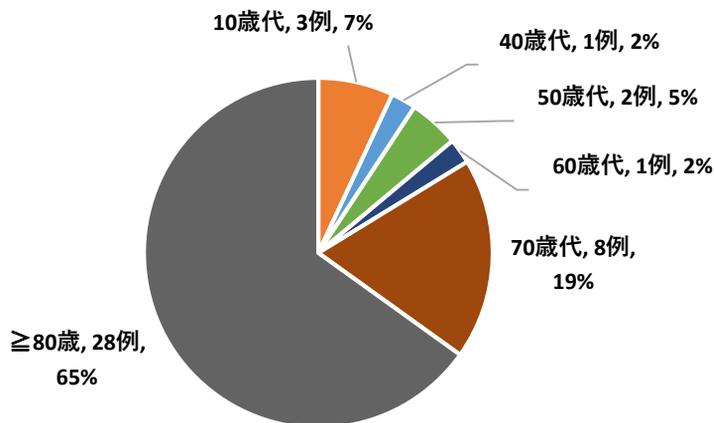


図6. 厚生センター・保健所管内別
定点医療機関当たり報告数の推移



※ () 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス
年代分布 (第39週、43例)



第39週 (9/25~10/1) 時点での所見と評価

- 第39週の定点医療機関当たり報告数は9.83人、新規患者推計値は2,228人であった。前週推計値 (第38週、2,644人) から16%減少した (図1、2)。
- 第39週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。10歳代が最も多く19%を占め、次いで50歳代 (16%)、40歳代 (13%) の順に多くを占めた。60歳以上の割合は23%で先週 (23%) と同程度であった。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。10歳代は減少が継続し、その他の年代は横ばいとなった。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で9.83人/定点であり、先週 (11.67) から減少した。全ての管内で先週から減少または横ばいとなっている。
- 第39週から県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスが開始された (図7)。第39週は43例の入院報告があり、その内80歳以上の年齢が65%を占めた。